

建築科1年生の授業 工業技術基礎(建具～組子をつくる)1回目

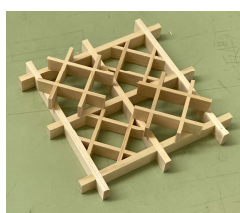
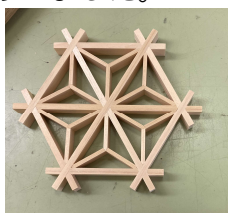
1年生は建具マイスターであり、現代の名工である友国先生から指導を受けました。建具（たてぐ）の種類について学び、日本の伝統的な障子について先生の作品を実際に見ながら説明を受けました。障子をつくるには、使用する材料の検討、材料の使い方、美しく仕上げていくための木工手道具の大切さが必要であることがわかりました。



今回、友国先生は、ご自分の「鉋（かな）」を多種類持ってきてくださり、生徒たちに試し削りをさせてくださいました。初めて見る鉋も多く、建具の仕事の奥深さを知ることができました。先生の鉋を使わせていただき、初めて鉋を使う生徒たち全員が、向こう側が見えるほどの薄い削りかすがでて、その後の木材の美しさに驚きました。先生の鉋のように仕立てていけるようになりたいと思いました。



先生自作の丸棒をつくる鉋も使わせてもらいました。



↑「麻の葉」と「ます組」の組子。生徒は一人ひとり「ます組」の組子をつ



↑ 胴付きのこぎりを使うときの注意点をききました。